

## 令和4年度 講座実施報告書

### 1 概要

講座の名称	長野県男女共同参画センター“あいとぴあ”フォーラム				
講座の目的	<p>男女共同参画社会の実現のためには、一人ひとりの個人としての尊厳が尊重され、性差による固定観念にとらわれず、女性も男性も生きづらさを抱えることのない環境づくりが重要となる。</p> <p>コロナ禍において、生活スタイルが働き方も含め大きく変わった。With コロナ、after コロナにおける、これからに向けて、新しい社会づくりを考える機会とする。</p>				
募集対象	(設定なし)				
定員人数	<p>オンライン視聴 100名</p> <p>長野市 20名 岡谷市 25名 飯田市 60名 伊那市 50名 大町市 20名 池田町 30名 豊丘村 30名 朝日村 25名</p>	<p>申込人数</p>	<p>オンライン視聴 119名</p> <p>長野市 12名 岡谷市 9名 飯田市 7名 伊那市 9名 大町市 2名 池田町 21名 豊丘村 9名 朝日村 9名</p>	<p>当日参加人数</p>	<p>オンライン視聴 39 接続 後日配信視聴回数 139 回 長野市 12名 岡谷市 8名 飯田市 7名 伊那市 9名 大町市 2名 池田町 15名 豊丘村 9名 朝日村 9名</p>
申込方法	<p>[オンライン] ながの電子申請サービス</p> <p>[会場] ながの電子申請サービス、電話</p>				
託児	設営なし				
回数	1回				
開催場所	<p>・オンライン (Zoom ウェビナー)</p> <p>・サテライト会場：長野市、岡谷市、飯田市、伊那市、大町市、池田町、豊丘村、朝日村</p>				
日時	12月10日(土) 13:20 ~ 15:30				
開催内容	<p>13:30~15:20</p> <p>講演：「コロナ後のジェンダーを生きる」</p> <p>講師：上野 千鶴子さん</p> <p style="text-align: center;">社会学者、東京大学名誉教授、認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長</p> <p>コロナ禍に現れてきた平時の矛盾点等について、さまざまな統計をもとにジェンダー視点から読み解き、お話をいただきました。</p> <p>また、次世代の社会づくりに向けて、一人ひとりが行動に移しやすくなるようなメッセージもいただきました。</p>				

参加者の声

<オンライン>

・女性に対する応援のメッセージがふんだんに盛り込まれた講演内容で、講演により元気をいただきました。傍観者にならないでほしい。沈黙は同意であるという言葉が胸に残りました。

・その時、その場で、おかしいな?とか、これは変だな?と引っかかることがあったら、言葉にし、発言していきたいと思いました。自分の子どもや、教え子達に、少しでも良い社会にして、引き継ぐため、自分で出来ることを行動に移したい。

・自分が育って来た環境がいかに恵まれていたかを再認識しました。

自分の子供には、選択肢を多く提供し、色々な体験を学ばせ、しがらみのない自由な価値観で人生を選択してもらいたいと思っています。

・上野先生がおっしゃっていたように、質疑応答の時間がおもしろかったです。

長野県の女性差別、まだまだひどいですね。私も、微力ですが、できることをがんばります!

・大変分かりやすいお話で、あっという間に時間が過ぎました。

・データに基づいた現状と今日の日本の課題が明確に伝わりました。

今日まで社会を築いてきた女性の先輩方の努力と苦労を想像すると困難で並大抵ではなかったと思う。今度は次の世代の私たちが日々おかしいと思うことは声に出し、よりよい社会を次の世代に引き継いでいきたい。

・質疑の時間が1番よかったです。上野さんの的確で鋭い意見がとても良かったです。

・社会に出てからは、「結婚して子どもに恵まれることが女の幸せ」というメッセージを職場の年長の男性達から受け取り、それは、時として、年長の女性からも受け取るものでした。それらのメッセージに時として反発や怒りを感じながら、それでも言われたことにもの申すことも無く中年に至り、自分の娘の年代の若者たちが結婚する話を聞くようになって初めて、「娘がもし結婚するなら、夫になる人とは対等な関係でいて欲しい」という思いを強く持つようになりました。家庭で、職場で、社会で、女性だからという理由で「こう振る舞うべき」とされてきた全てを、娘たちの年代には味わせたくない、という気持ちを、ようやく強く持つようになりました。でも、自分が思っていることをどんな言葉で表現すればいいのかわからずにいたのですが、今回上野先生のお話を伺って、感じてきたこと、思っていること、こうなって欲しいと思うこと…そういったことを、ようやく、拙くとも言葉にしていけるような気持ちになれました。

・豊富なデータをもとに分析され、導きだしたお話には説得力がありました。上野さんらしいフランクで率直な言葉の数々が、小気味よかったです。素晴らしい講演会でした。

・上野先生をお招きいただきありがとうございました。最高に元気になる2時間でした。

・上野先生の、データから読み解く切り口は、大変確実で納得できるお話ばかりでした。私自身も、非正規労働者です。講演内容と同様な扱いの中で、現在も働いています。女性が声を上げる事が、出来る社会を自分達が作っていかなければ、これからの未来も社会の保障もないと思いました。

講演の貴重な学びを、ぜひユースの子どもたちが聞いて欲しいと、強く願います!

又、市議員や政治家に、ぜひ聞いて欲しい内容と思いました。

上野先生の、著書読みます。子どもたちにも、紹介したいです。

・貴重なご講演ありがとうございました。

まず、大災害やパンデミックなどの非常時には、新しい問題が突然現れるわけではなく、社会の弱い部分にさらにしわ寄せが行くことにより、見えにくかった課題が一気に表面化したり増幅したりする、というのが腑に落ちました。

上野先生が語った（代弁した）女性や弱者に対する社会や個人の偏見、差別、格差については、知らなかったこと、見て見ぬフリをしてきたことがあるように感じて、後ろめたさ、苦さを覚えました。それを認識しつつも「良い、悪い」やお互いへの怒りや憎しみだけではなく、どんな価値観や倫理観を共有して進むのが自分たちの人生や暮らし、また次世代の暮らしにとっていいことなのか、よく話していくことが大切だと受けとめました。

・さまざまなデータの中から「なぜ」や違和感を感じ取る力を高める必要があること、知らなかったこと、気づいていなかったことを素直に認めることの大切さを学びました。自分の身の回りのこと、できることから取り組んでいきたいと思います。

上野先生のますますのご活躍をお祈りしております。

・自分事として考えさせられるとても有意義なお話でした。  
・分かりやすい最新情報の資料、普段はあまり目にしていない白書などからの統計が大変分かりやすかった。  
・コロナ禍の非正規雇用の現状など耳にすることはありましたが、まとめてくださっていたので様々な問題を再認識できました。

政治が破滅的に良くなってどうすることもできずもどかしいです。エッセンシャルワーカーの人がどうして賃金が良くないか。どうしたらよいか分からずもどかしい問題ばかりです。まずは#うるさい女を貫いて少しでも変えられたらと思います。

憧れの上野先生のお話を聞いて良かったです。

・大変わかりやすく、日本の根強いジェンダーの問題を把握することができました。また、周りを見ると相も変わらずなのにながかりするばかりですが、長い目で見ると変わってきていると、少し明るくなれました。  
・講演内容の特に女性の賃金、働き方がわかりやすく興味を持ってました。今後もこのようなお話を直接お聞きしたいです。  
・憧れの上野先生のお話を聞くことができ、コロナ禍のうつうつとした気持ちに元気をいただきました。このコロナ禍の生活が10年後20年後、将来にどのような影響を及ぼすか非常に危惧しております。願わくば自分が10代くらいの時にこの講演を聞いたかったなあと思いました。このような機会を設けていただきありがとうございました。  
・一人ひとりの意識を変化させるためには、自分の中の“わきまえない女”を出してあげることが大切だと思いました。10代の男女と関わる時には、特に意識していきたいと思います。

<サテライト会場>

・とても良かったです。世の男性達にぜひ聞いてほしい。  
・男性の発言をもっと聞きたい。  
・本を紹介いただいたので読みたいと思う。子供への提言が良かった。  
・なんとなくモヤモヤしていた各種制度の施行とジェンダーとの問題の関係が理解できたのでスッキリした。今、何が大切かと考えて行動したいと思いました。  
・コロナ禍が女性に及ぼす影響だけではなく、日本の階級社会について考えさせられま

した。世代間ギャップについても同様に。また、「そのルールから誰がトクをするか」という言葉がとても印象に残りました。

・テンポよい語り口で引きこまれました。日ごろモヤモヤしていたことを言葉とデータで分かりやすく、スッキリしました。質疑応答楽しかったです。

・とてもわかりやすく、あつという間の時間でした。

加害者にも被害者にも傍観者にもならず、その場で言える人になりたいです。

・コロナ禍が社会にもたらした影響、そして今後の方向について、ジェンダーの視点からわかりやすく、そして具体的にお話してくださり、素晴らしい講演であった。

・いろいろ先生のお考えがはつきり聞けて大変よかったです。

・数年前は「ジェンダー」という言葉すらタブーでした。変わらない日本ではありますが、長い歴史をみれば変わってきました。声をあげつづけてくださった方々に感謝です。

・非正規で頑張っても救われない！（男女関係なく）世の中のおじさんの頭の中を替えずなくては変わらない。これからの若い人からは変わる事を期待します。

・多様化をはかるには①多文化共生推進②ジェンダーgap 指数解消の2点が急務。この多様化をはからなければ日本の未来地図をえがけないと思います。

・コロナ禍により、これまで見えなかった問題が顕著化されたことは、よいきっかけになってほしい。すぐには変わらなくても、少しずつでも変えていく事が大事だと思いました。傍観者にもならず、これからの世代の人のために、よい社会をつくっていきたいです。

・“黙もくは同意”ということばが胸にひびきました。

・男女平等を勉強し始めて20年。あらためてジェンダーもっとしっかり勉強します。

・上野先生のお話を聞いてよかったです。ていねいに質問に答えていただきよかったです。女性の生き方のお話がよかったです。

・「沈黙は同意、笑いは共犯」ジェンダーの実践をしていきたいなと思いました。

・男女共同のあり方改めて学習しました。今の若い人達は自分も支えてぼくも支えるよと協力しあって家事・育児をしている姿にはほほえましいですね。

・スムーズな口調もとても良くわかりやすかったと思いました。

・時代をつくってきてしまった世代として、色々反省しました。質疑応答をもっと色々聞けたらと思いました。

・切れの良い語り口で分かりやすかった。知らないで通していた事が、とても深いものがあり、しっかり理解していないといけないのだと思った。言葉の一つ一つが心に入っていました。スピードについて行けなかった。

・上野先生がずっとジェンダー研究者として先導者として、女性たちのもやもやを言葉や行動、文字にしてくださいました。先生の1つ1つの言葉を次の世代に自分なりに伝え、ジェンダー視点を少なからず持った伴走者として、伝えていきたいと思います。

・女らしく生きてきたことが社会のしわ寄せだったと聞かされて初めて知った。

・自分の持っている情報を整理するのに役立つ講演でした。

・だまっているは認めることだ……その勇気が必要だ。

・取り上げられるデータもどれも大変興味深かった。

・くわしい内容で大変参考に成りました。

・たいへん勉強になりました。元気とか勇気をいただきました。

